

R7児童アンケートの結果 児童用

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R7.12月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	先生は、学校の勉強を分かりやすく教えてくれますか。	8	7	0	1	3.4
2	授業中は、集中して学習に取り組んでいますか。	11	5	0	0	3.7
3	家庭での学習に進んで取り組んでいますか。	4	10	1	1	3.1
4	進んで読書に取り組んでいますか。	5	8	3	0	3.1
5	学習道具をわざわざ学校へ持ってきてていますか。	6	7	3	0	3.2
6	誰にでもあいさつや返事をすることができますか。	14	2	0	0	3.9
7	「ありがとうございます」や「ごめんなさい」を言うことができていますか。	11	4	1	0	3.6
8	先生は、あなたのよいところをほめてくれますか。	9	4	2	1	3.3
9	将来の夢や目標を持っていますか。	9	4	2	1	3.3
10	ろうかは静かに右側を歩くことができていますか。	6	10	0	0	3.4
11	友だちとなかよく助け合って、楽しく生活することができますか。	12	4	0	0	3.8
12	困った時は、先生・家族・友だちなどに相談することができますか。	5	10	1	0	3.3
13	外で元気に遊んだり、進んで「げんきタイム」に取り組んだりしていますか。	13	3	0	0	3.8
14	毎日「早ね・早起き・朝ごはん」ができますか。	8	5	2	1	3.3
15	好き嫌いなく食事をしようとしていますか。	8	5	2	1	3.3
16	交通事故やけがに気をつけて、安全な生活ができますか。	13	3	0	0	3.8
17	中学校の先生や中学生といつしょに活動することは好きですか。	10	3	2	1	3.4
18	地域の人とふれあう活動は、楽しいですか。	8	7	1	0	3.4

【結果からの分析】

・18項目中6項目は、100%の児童が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と答えています。その中でも、6「あいさつ、返事」

については3.9ポイントと最も高く、学校やご家庭での取組で、意識できていることがうかがえます。今後も、継続できるよう、お声かけください。

・次いで、11「友達と仲良く」13「外遊びの推奨」や16「安全な生活」についても、3.8とポイントが高く、子どもたちが健康や安全に気を付け、心身ともに安全安心な学校生活を送り、楽しんでいる様子が分かります。

・一方、3「家庭学習」や4「進んで読書」、については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している児童が前回調査よりも複数いるため低い数値となりました。また、8「先生はほめているか」9「夢や希望はあるか」12

「困ったときの相談」や14「早寝・早起き・朝ごはん」15「好き嫌い」も低い数値となっています。今後も引き続き、ご家庭との連携を密にし、大人が声をかけたり、相談にのったりすると共に、スクールカウンセラーの活用やSOSの出し方を学ぶ場を設け、困ったことを相談できるような環境づくりに努めます。

・前回(7月)の調査と比較すると全体的に数値は下がっています。数は少ないですが、前回よりも「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している児童が増えおり、しっかりと自分を見つめ直した結果ともいえます。さらに、自己肯定感、自己有用感が高まる指導をしたいと思います。

R7保護者アンケートの結果 保護者用

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R7.12月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標を知っていますか。	2	12	0	0	3.1
2	学校は、子どもたちに楽しく、分かりやすい指導をしていると思いますか。	9	5	0	0	3.6
3	お子さんは、家庭での学習に進んで取り組み、学習習慣が定着していますか。	2	8	4	0	2.9
4	お子さんは、家庭で進んで読書をしていますか。	1	5	7	1	2.4
5	ご家庭では、基本的な学習習慣や生活習慣が身に付くように言葉かけをしていますか。	3	9	2	0	3.1
6	学校は、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	8	6	0	0	3.6
7	ご家庭では、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	6	7	1	0	3.4
8	学校は、いじめ防止(なかよしアンケートの実施、児童との面談など)の対策を行い、いじめが起きた場合は、迅速に対応していますか。	6	8	0	0	3.4
9	お子さんは、毎日楽しく学校に登校していると思いますか。	11	3	0	0	3.8
10	ご家庭では、お子さんの話を聞いたり、一緒に活動をしたりするなど、ふれあいの時間をもたれていますか。	6	8	0	0	3.4
11	学校は、地域や社会の様々な人と一緒に体験する活動を仕組んでいると思いますか。	9	5	0	0	3.6
12	ご家庭では、外遊びを推奨したり、一緒に運動をしたりされていますか。	2	8	4	0	2.9
13	お子さんは、家でも食後の歯みがきをしていますか。	4	9	1	0	3.2
14	お子さんは、毎日「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。	1	10	3	0	2.9
15	学校は、安全指導(交通安全や火災・地震・不審者対応など)を定期的に行っていますが、ご家庭でも緊急時の対応についての話をされていますか。	1	10	3	0	2.9
16	学校便りや授業参観等でお子さんの学校での様子や授業の様子を知ることができましたか。	8	6	0	0	3.6
17	小学校と中学校が連携して活動していることを知っていますか。	9	4	1	0	3.6
18	お子さんのことで困ったことがあった時には、気軽に学校に相談できますか。	9	5	0	0	3.6

【結果からの分析】

・18項目中9項目において、100%の保護者が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をしています。その中でも、9「楽しく登校」は3.8ポイントと評価が最も高く、次いで、2「分かりやすい指導」、6「礼儀・思いやり・感謝」、11「地域や社会の体験活動」が3.6ポイントと高い評価でした。このことから、本校が子供たちにとって安心・安全で楽しく学べる居場所であるということ、地域との交流などの教育活動に対し保護者の方々の高い関心があることがうかがえます。

・また、16「学校便りや授業参観」、17「中学校との連携」、18「困ったときの相談」も3.6ポイントと高い評価であり、学校との連携を大切にされていると感じています。

・一方、3「家庭学習の定着」、4「家庭での読書」、12「外遊び」、14「早寝・早起き・朝ごはん」、15「家庭での安全指導」については、わずかですが3ポイントを下回っていました。「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答されている方が複数おられ、ご家庭でのお子様の様子に対し、改善する必要があると感じられていると思われます。学校でも子供たちへ家庭学習の大切さ、学習習慣の定着について継続的な指導を行っていますが、今後も繰り返し指導していきます。

・前回(7月)調査と比較した結果、全体的には上向き傾向にあり、学校へのご支援、ご協力に感謝します。

R7職員アンケートの結果 教職員用

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R7.12月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標や学校経営方針を学級経営に反映している。	5	4	0	0	3.6
2	教材研究を十分に行い、今年度の研究内容を意識した授業に取り組んでいる。	3	5	0	0	3.4
3	進んで学ぶ児童の育成を行うことができている。	2	7	0	0	3.2
4	一人一台端末を活用し、児童が自分にふさわしい学び方や学習方法を身に付けられるよう工夫している。	1	6	1	0	3.0
5	教育活動全体を通じて、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むようにしている。	5	3	0	0	3.6
6	学校のきまりや月のめあてが徹底するよう指導を行っている。	6	2	0	0	3.8
7	日常の観察や聞き取り調査、定期的な「なかよしアンケート」の結果をもとに、いじめの未然防止に努めている。	7	1	0	0	3.9
8	児童のがんばりを認め、自己肯定感を高めるための指導を心がけている。	7	1	0	0	3.9
9	児童に将来の夢や目標について考える機会を設けた指導を行っている。	1	7	0	0	3.1
10	他の職員と連携しながら、児童や保護者への生活指導や対応等を行っている。	8	1	0	0	3.9
11	地域や社会の様々な人と一緒に体験する活動を仕組んでいる。	5	2	1	0	3.5
12	外遊びを奨励したり意欲的に「げんきタイム」に取り組めるようにしたりしている。	7	1	0	0	3.9
13	「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や計画的な食育指導を行っている。	5	2	1	0	3.5
14	日頃から児童の危機対応能力を高める指導を行っている。	2	6	0	0	3.3
15	勤務時間を意識して仕事に取り組んでいる。	7	2	0	0	3.8
16	学級便りを発行したり、保護者と連絡を取り合ったりして、児童の学習や生活の様子等の情報を共有している。	3	5	0	0	3.4
17	学習指導において、9年間の学びの連續性を意識して授業を行っている。	2	6	0	0	3.3
18	特別支援教育についての研修を深め、学級の指導に生かしている。	3	5	0	0	3.4

【結果からの分析】

- 18項目中15項目において、100%の職員が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をしています。その中でも、7「いじめの未然防止」8「自己肯定感を高める指導」や10「職員間の連携による児童対応」12「外遊びの奨励」は3.9ポイントと特に平均ポイントが高く、日頃から職員一丸となって子どもたちの指導・支援にあたっている成果だと考えます。
- 一方、4「一人一台端末の活用」や9「将来の夢や目標への指導」については、まだ改善の余地があり、校内外での研修や指導法改善、家庭との連携をさらに強化していきたいと思います。
- 前回(7月)の調査と比較すると全体的に数値は上がっています。今後も指導目標や指導方針を学校全体で共有し、常に職員間で連携した児童の育成を心がけていきます。